

みんなで考え、創りあげる未来の湯沢町

湯沢町都市マスタープラン

(まちづくりに関する基本的な方針)

《都市マスタープランの主な役割と目的》

- ◆ 町全体及び地域ごとに将来像を示し、まちづくりの目標とします。
- ◆ 土地利用のあり方や、道路・公園などの都市施設の整備・配置等の基本的な方針を定めます。
- ◆ 住民の皆様のまちづくりへの参加を促します。



1

町の現状と課題

私たちの「湯沢町」は、こんな町です

トンネル抜けたら…… 「湯沢町」

首都圏からの玄関口

豊かな自然

広域リゾート拠点

しかし

観光客等によって増加する都市活動人口
に各種生活基盤は十分に対応できず、地
域住民の生活は支障を来たしています。

したがって

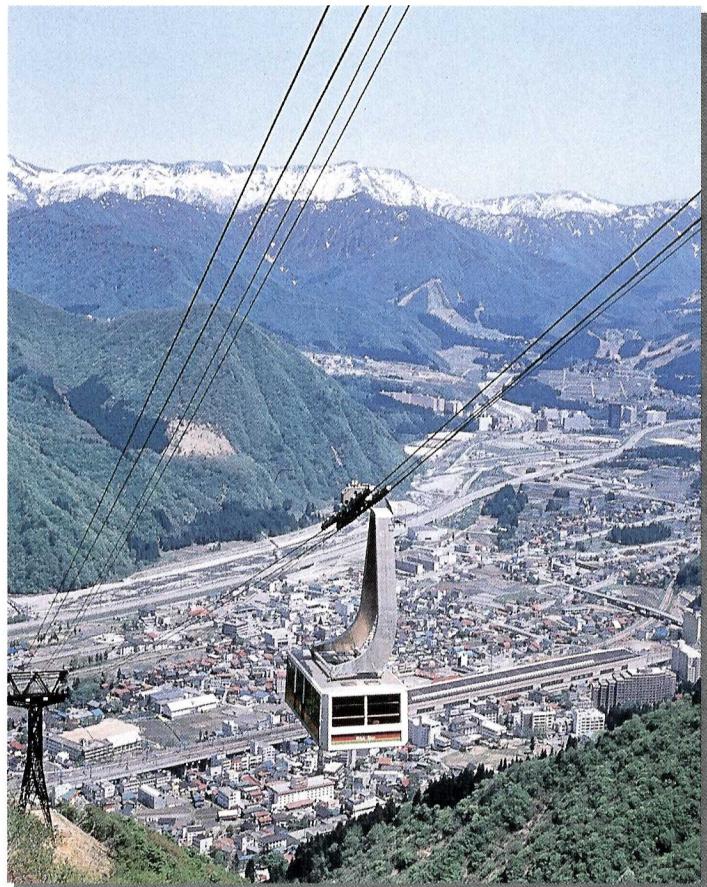
生活基盤整備の充実が必要です。

秩序ある都市型社会
への誘導

高齢化・少子化
への対応

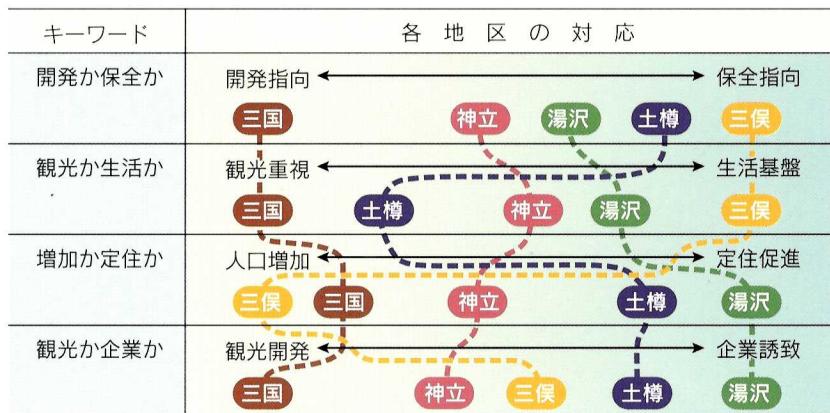
自然環境の
保全・活用

観光地の通年化による
集客力の向上



住民の意向（町の目指すべき方向性）

「湯沢町のまちづくり」に関するアンケート調査結果より



「湯沢町のまちづくり」 に関するアンケート調査

調査期間：H9・2/20～3/15

調査方法：郵送によるアンケート

対象者：配布1000人中 回答553人
(町民無作為抽出)

湯沢地域 開発と保全、観光と生活基盤等が両極ではなく中立

神立地域 保全指向の傾向にあり、定住促進のために企業誘致を重視

土樽地域 保全指向の傾向に反して、観光重視と混在

三俣地域 保全指向が強く、生活基盤重視

三国地域 依然として開発指向が強く、観光重視

2 全体構想（1）

湯沢町をもっと素敵な町に

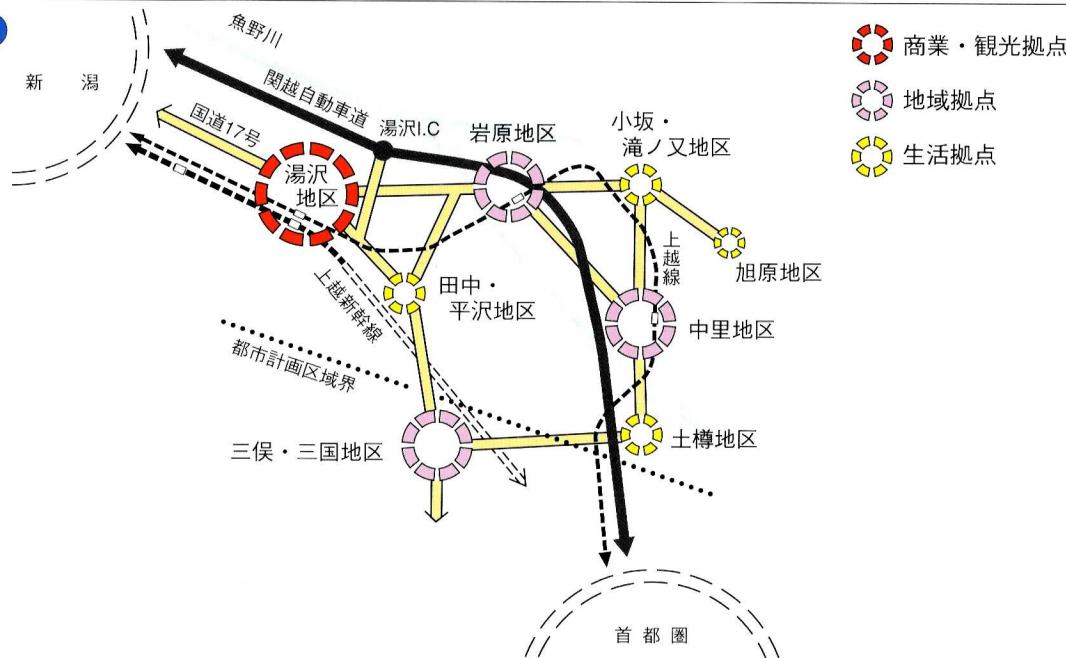
まちの将来像

キヤッチフレーズ

都市型生活機能を充実させ先進的なリゾート機能を兼ね備えた

「アーバンリゾートシティゆざわ」の実現

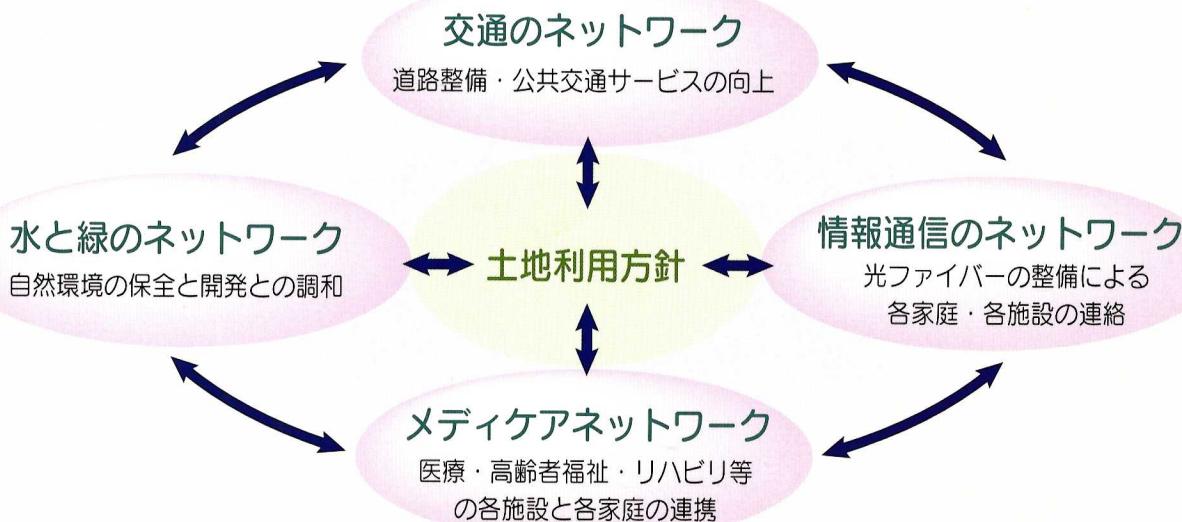
将来都市構造図



まちづくりの基本方針

土地利用方針：地域の個性・特性を活かした良好な生活環境の実現を図ります。

都市施設整備方針：各種都市施設の相互の連携を強化(ネットワーク化)し、生活機能の向上を図ります。



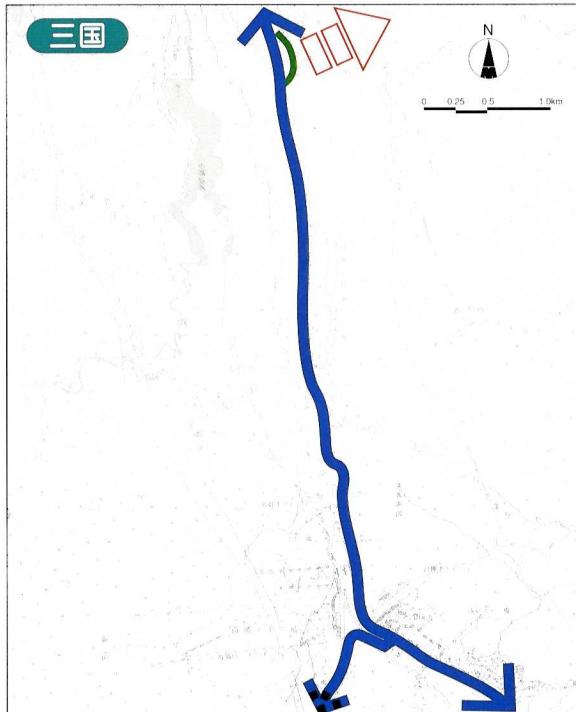
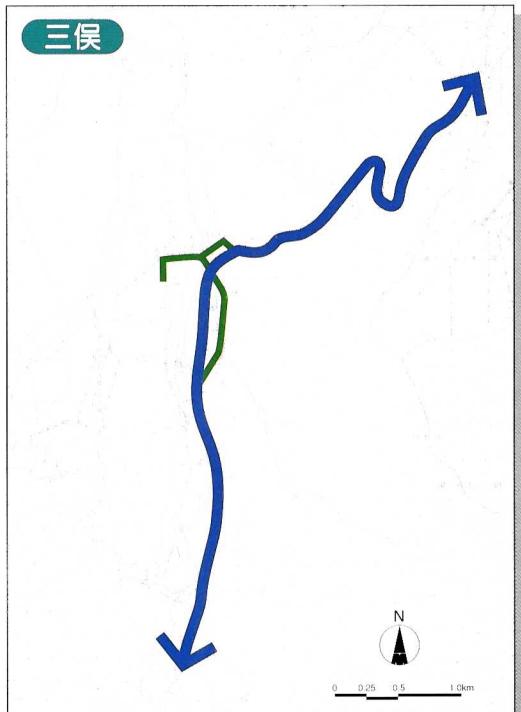
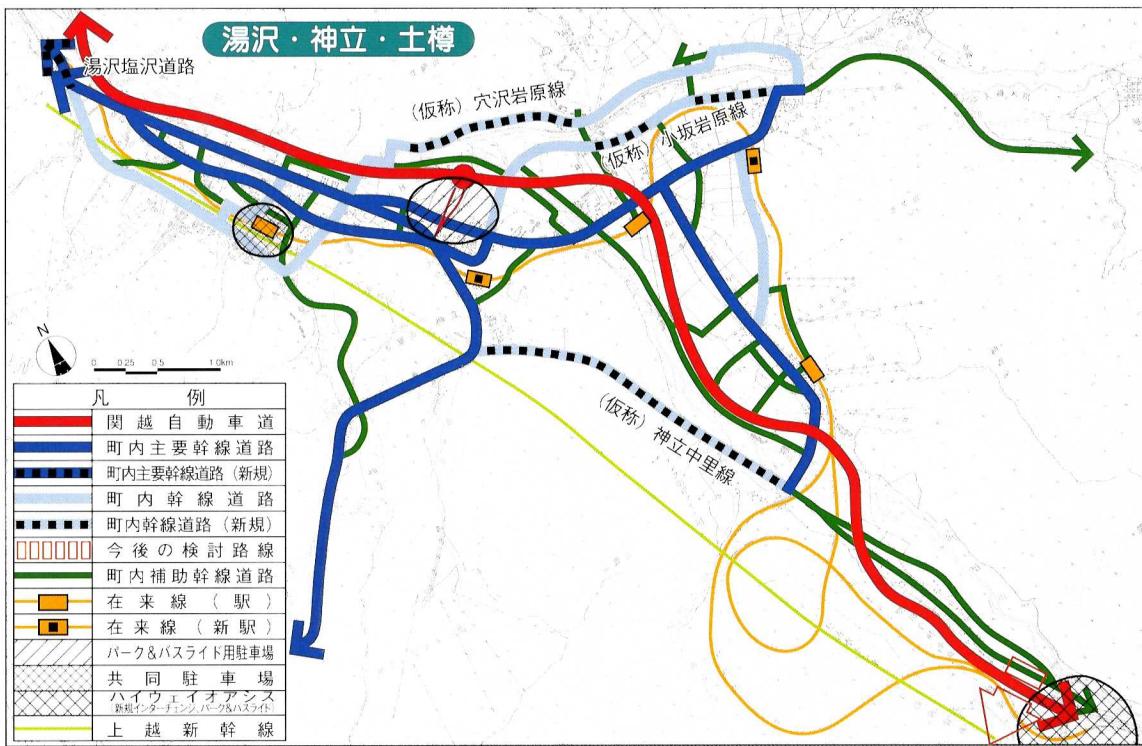
3 全体構想 (2)

例えば ゆざわの交通はもっと便利になる

交通体系の整備方針

交通のネットワーク化により、交通渋滞の改善と町内連携を強化し、生活環境の向上を目指します。

- 広域幹線道路の整備
- 町内幹線道路網の整備・充実に向けた検討の推進
- 公共交通サービスの向上
- 快適で安全な歩行者空間ネットワークの整備
- 共同駐車場の整備支援
- 新規インターチェンジの整備検討
- パーク&バスライド用駐車場の整備検討
- 防災ヘリポートの整備検討（三俣・三国地域）

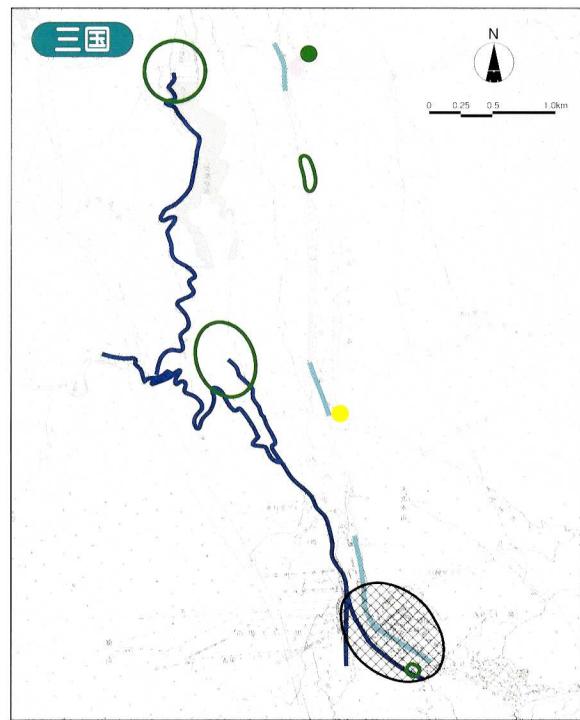
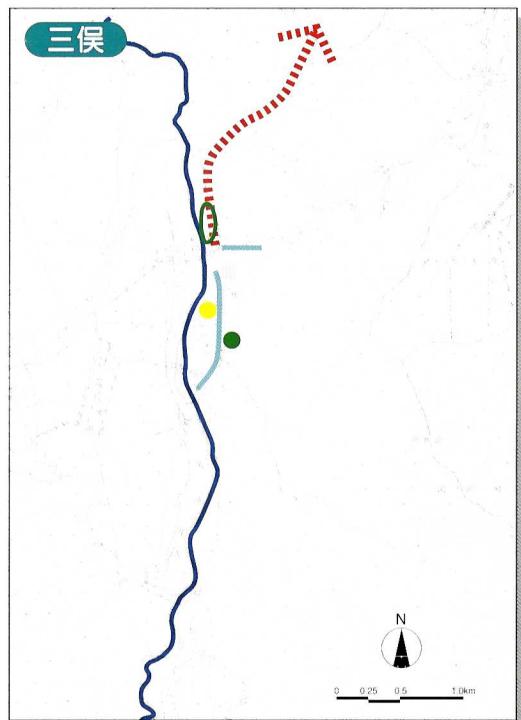
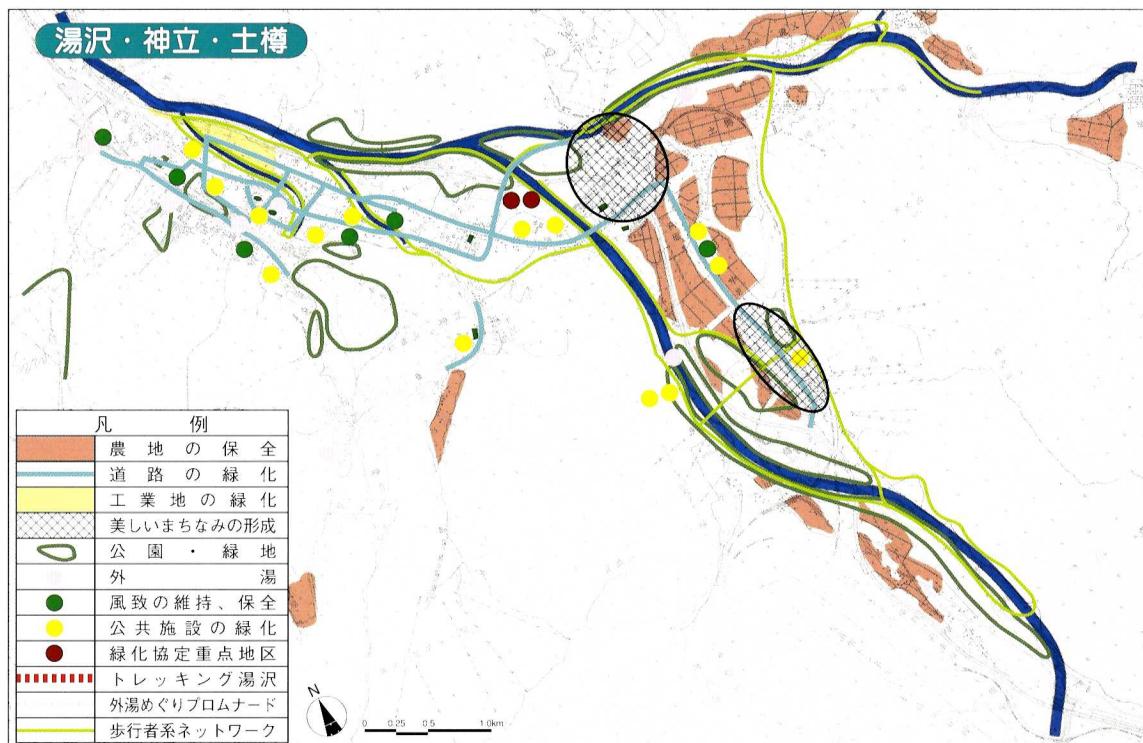


※土樽地域と三俣・三国地域との連絡に資する道路については、(町)二居土樽線を含めて、今後、整備について検討を行っていきます。

都市環境の形成方針

水と緑のネットワーク化により、自然環境を保全・活用し、豊かな生活環境を目指します。

- 防災や景観にも配慮した公園緑地の整備
- 樹林地・農地の保全
- 広域水域の水質保全・せせらぎ環境の創出
- 幹線道路の緑化
- 外湯や自然を活用した遊歩道の整備
- 美しいまちなみ空間の維持・形成



5 地域別構想 湯沢地域

将来のイメージ

『先進的総合拠点地域』

歴史的街並み景観を保全しつつ、生活機能、観光機能を有する複合的で常に先進的な都市基盤の整備を図りながら、アーバンリゾートティキヤざわの中心拠点を形成します。



地域の現状

- 駅前土地区画整理事業が完成
- 温泉街としての更なる魅力向上が課題
- 深刻な交通混雑と歩きにくさに拍車をかける違法駐車問題
- 自然保護と開発の共生の必要性

地域整備の基本方針

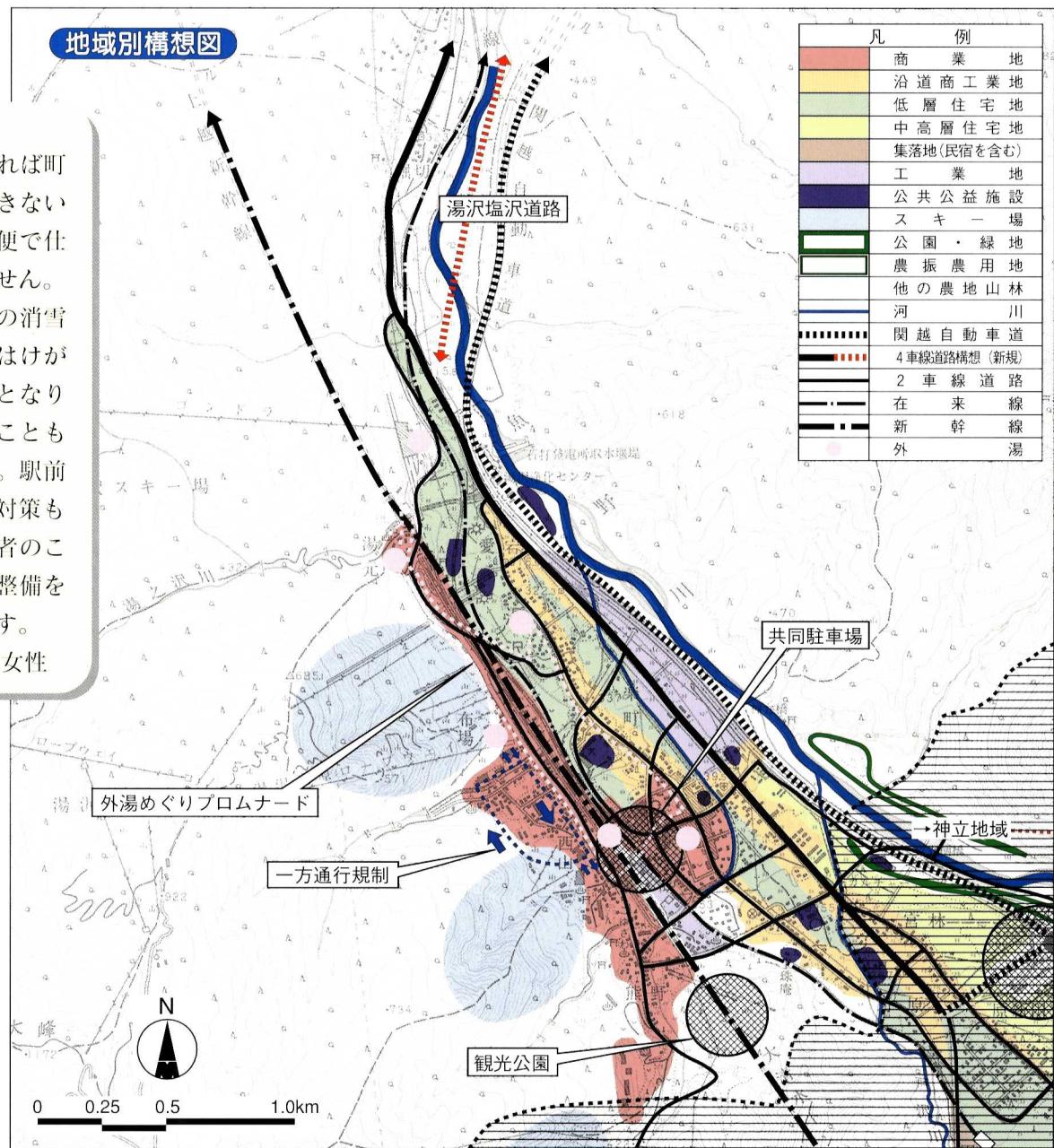
- 温泉街の景観整備
- 外湯めぐりプロムナードの形成
- 温泉街の通行規制等の検討
- 官民協力した共同駐車場の整備
- 湯沢塩沢道路等の計画道路の整備促進
- 城平スキー場跡地の有効利用の検討

声

車が無ければ町内を移動できないようでは不便で仕方がありません。

せっかくの消防パイプも水はけが悪く水浸しとなり満足に歩くこともできません。駅前の路上駐車対策も含め、歩行者のことも考えた整備をお願いします。

20代女性



6 地域別構想 神立地域

将来のイメージ

『健康と教育文化の先進地』

湯沢町の住民生活の中心として、高齢化社会に対応したまちづくりを推進し「シビックセンター」としての役割を果たすとともに、歴史的資源魚野川での水との親しみなどを活かした地域づくりを進めていきます。

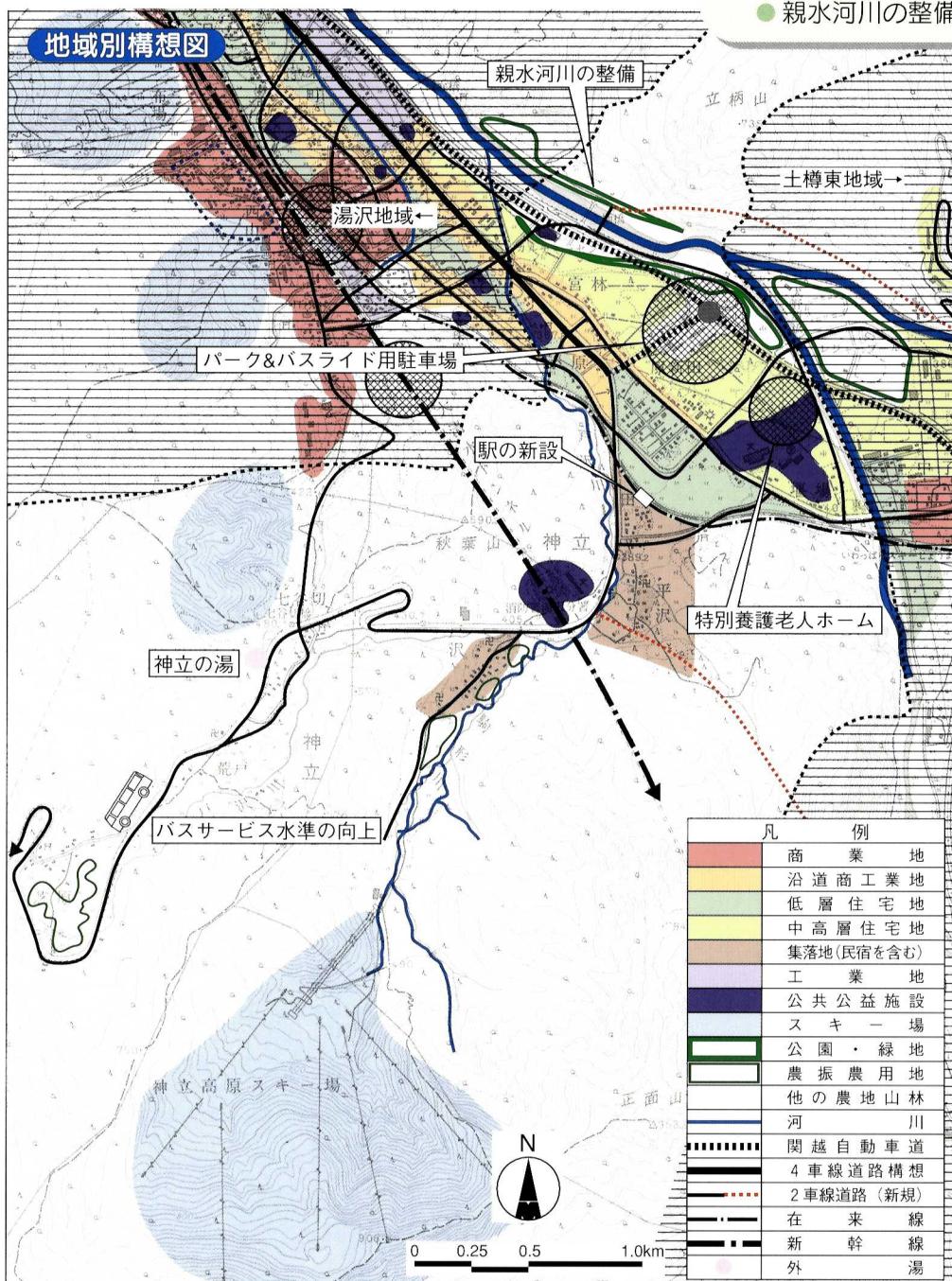


地域の現状

- 特別養護老人ホームの開設
 - 高齢化社会に向けた定住促進が課題
 - 冬期間における幹線道路の深刻な渋滞問題
 - 魚野川の河川環境の活用

地域整備の基本方針

- メディケアネットワークの更なる推進
 - 計画的なまちづくりの推進
 - 冬期間の渋滞緩和対策
 - きめ細かい公共交通サービスの実現
 - パーク&バスライド用駐車場の整備検討
 - 親水河川の整備



声

時代はますます豊かな自然と心にゆとりある生活を求めてあります。湯沢のこのすばらしい自然を壊すことなく、快適な生活をすることができるれば最高だと思います。大きく発展する町などは望んでおりません。

「初めに自然あり。」
そこからの出発をお
願い致します。

50代男性

7 地域別構想 土樽東地域

将来のイメージ『いつでもスポーツ＆レジャー拠点』

高度に若者志向の岩原地区と自然の豊富な大源太地区とそれぞれの特徴を活かし、相互連携の下に通年型スポーツ地区を形成し、計画的なまちづくりの推進と合わせて完成度の高い地区形成を行います。

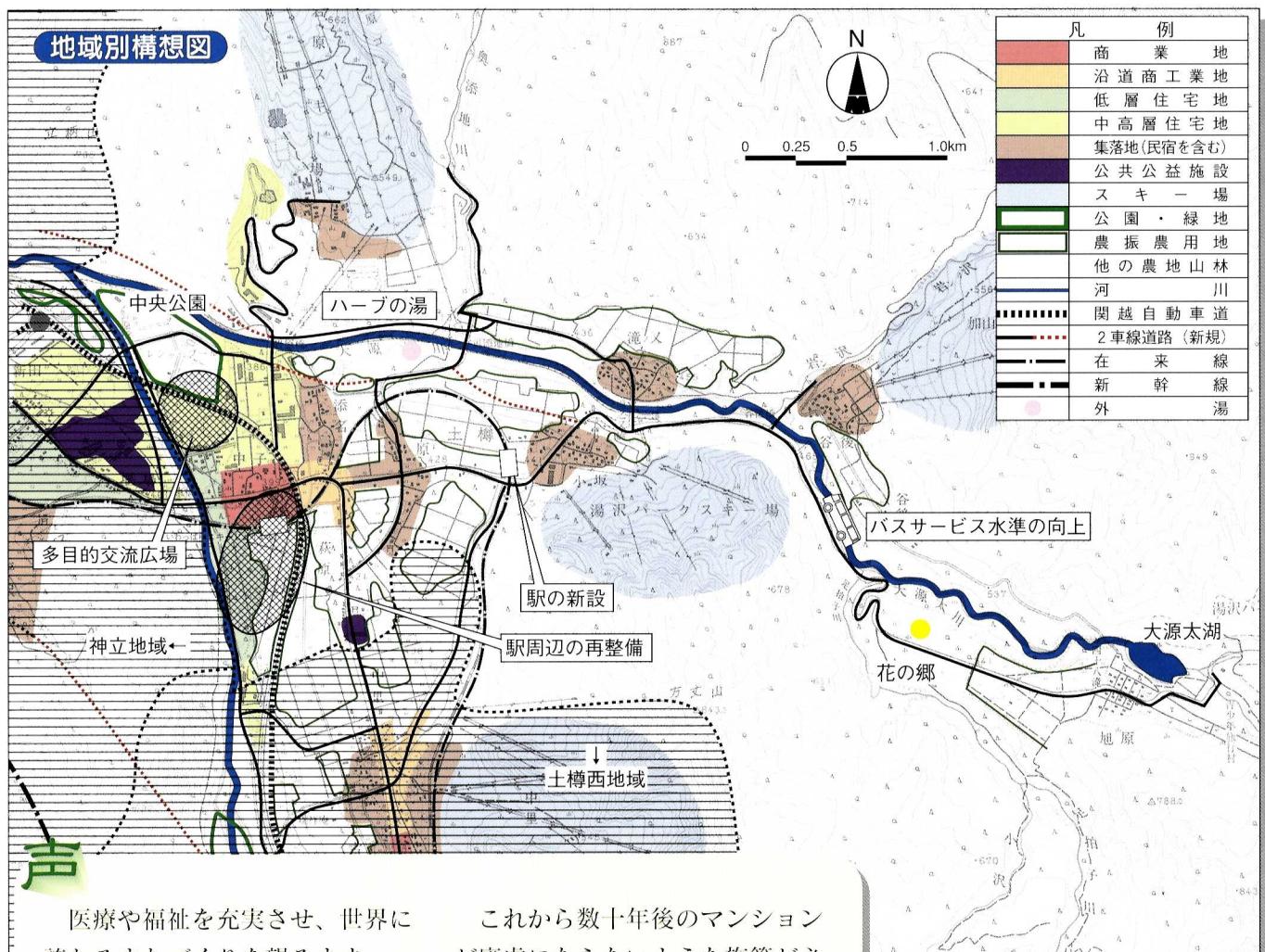


地域の現状

- リゾートマンションの集積地
 - 居住環境・河川環境の低下の懸念
 - 都市基盤整備の推進の必要性
 - 深刻な冬期の交通渋滞
 - 夏期観光のポテンシャル
(中央公園、大源太等)
 - 中子町有地の活用法の検討

地域整備の基本方針

- 計画的なまちづくり方針の検討
 - 公共下水道の推進
 - 岩原スキー場前駅周辺の再整備
 - きめ細かい公共交通サービスの実現
 - 道路の整備推進・充実
 - 夏期観光機能の更なる充実
 - 中子町有地の暫定的な活用



医療や福祉を充実させ、世界に
誇れるまちづくりを望みます。

- ・大学病院の誘致
 - ・温泉の活用

これから数十年後のマンションが廃墟にならないような施策が必要ではないでしょうか。

30代男性

なと

8 地域別構想 土樽西地域

将来のイメージ

『やすらぎとふれあいの郷』

副次拠点として安全で快適な市街地を創出する基盤を整備し、ファミリー志向の民宿街と豊富な自然を活かし、相互連携の下に通年レジャーゾーンの形成を図ります。

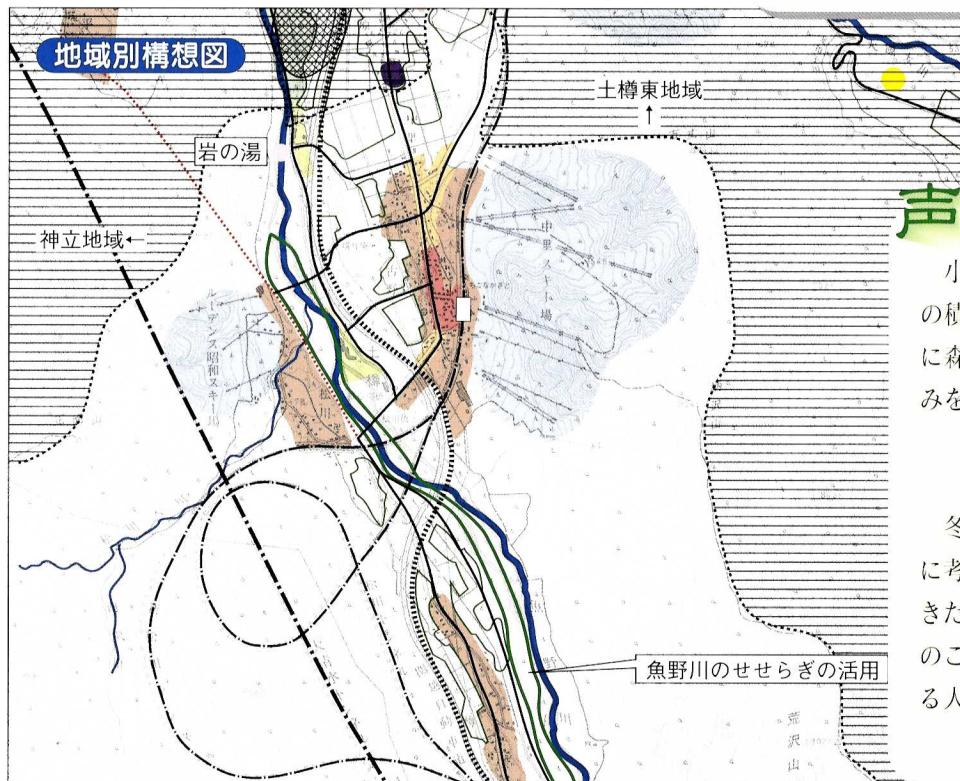


地域の現状

- 落ち着いた雰囲気の木造低層の民宿街
- 魚野川を活用した夏期観光の充実が課題
- 越後中里駅周辺の活性化が課題
- 居住環境・河川環境低下の懸念
- 深刻な冬期の交通渋滞
- 関越自動車道へのアクセス向上の必要性

地域整備の基本方針

- 計画的なまちづくり方針の検討
- 土樽自然公園の整備促進
- きめ細かい公共交通サービスの実現
- ハイウェイオアシスの整備検討
(東京方面流入専用インターチェンジの設置検討
及びパーク&バスライド実施検討等を含む)
- 道路整備の更なる展開(三俣・三国方面との連絡)



凡 例	
商 業 地	
沿 道 商 工 業 地	
低 層 住 宅 地	
中 高 層 住 宅 地	
集 落 地 (民 宿 を 含 む)	
公 共 公 益 施 設	
ス キ 一 場	
公 园 ・ 緑 地	
農 振 農 用 地	
他 の 農 地 山 林	
河 川	
関 越 自 动 車 道	
2 车 線 道 路 (新 規)	
今 後 の 検 討 路 線	
在 来 線	
新 幹 線	
外 湯	

声

小川のある町、街路樹のある町、雪の積もる電柱の無い町、道路と家の間に森のある町、色彩が統一され、町並みを考えた町を望みます。

50代女性

冬期間の交通渋滞が発生しないようになっていただきたい。生活に支障をきたすばかりか、スキー客によればこのことが原因で湯沢に来なくなっている人も多数あると聞きます。

20代男性

9 地域別構想 三俣地域

将来のイメージ 『自然とのふれあいリゾート地』

今後、清津川ダムの整備によって地域が大きく変貌する可能性を持っていますが、概ね20年間は、住民生活を維持する利便施設の増強を推進するとともに、清津川沿いの景観を保全し、地域住民のみならず広く保養・レクリエーションの基地としての整備を推進します。



地域の現状

- 清津川ダムの整備方針の早期確定が課題
- 冬期間の交通渋滞が顕著
- 湯沢地域方面とのバスの便の悪さ
- 清津峡等への観光客の利便性が不十分

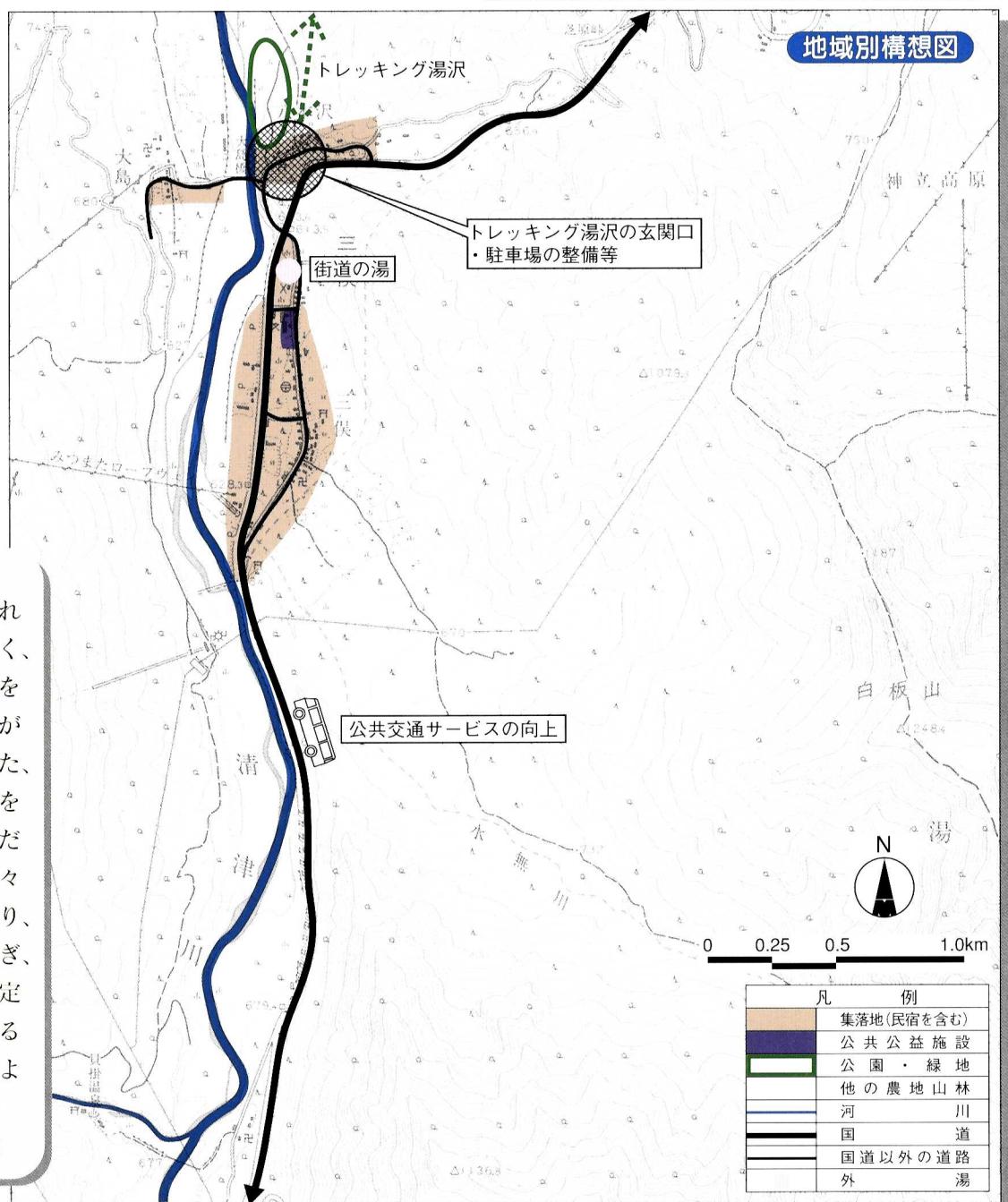
地域整備の基本方針

- きめ細かい公共交通サービスの実現
- 恵まれた自然環境の保全と共生
- 自然を活かした保養・レクリエーション基地としての整備
- 防災ヘリポートの整備検討
- 道路整備の更なる展開(土樽方面との連絡)

声

天候に左右されるスキーではなく、これからは一年を通して老若男女が楽しめる施設、また、福祉施設の充実を図ることが大切だと思います。様々な施設の充実により、若者の流失を防ぎ、生涯にわたって定住する者も増えるのではないかでしょうか。

30代女性



*土樽地域と三俣・三国地域との連絡に資する道路については、(町)二居土樽線を含めて、今後、整備について検討を行っていきます。

10 地域別構想 三国地域

将来のイメージ

『先進的エコリゾート地』

スキーリゾート地としてだけでなく、標高の高さを活かした夏期における避暑地として、厳しい生活風土の歴史と豊かな自然環境を誇る通年型の先進的エコリゾート地として機能の充実・景観の維持を図ります。

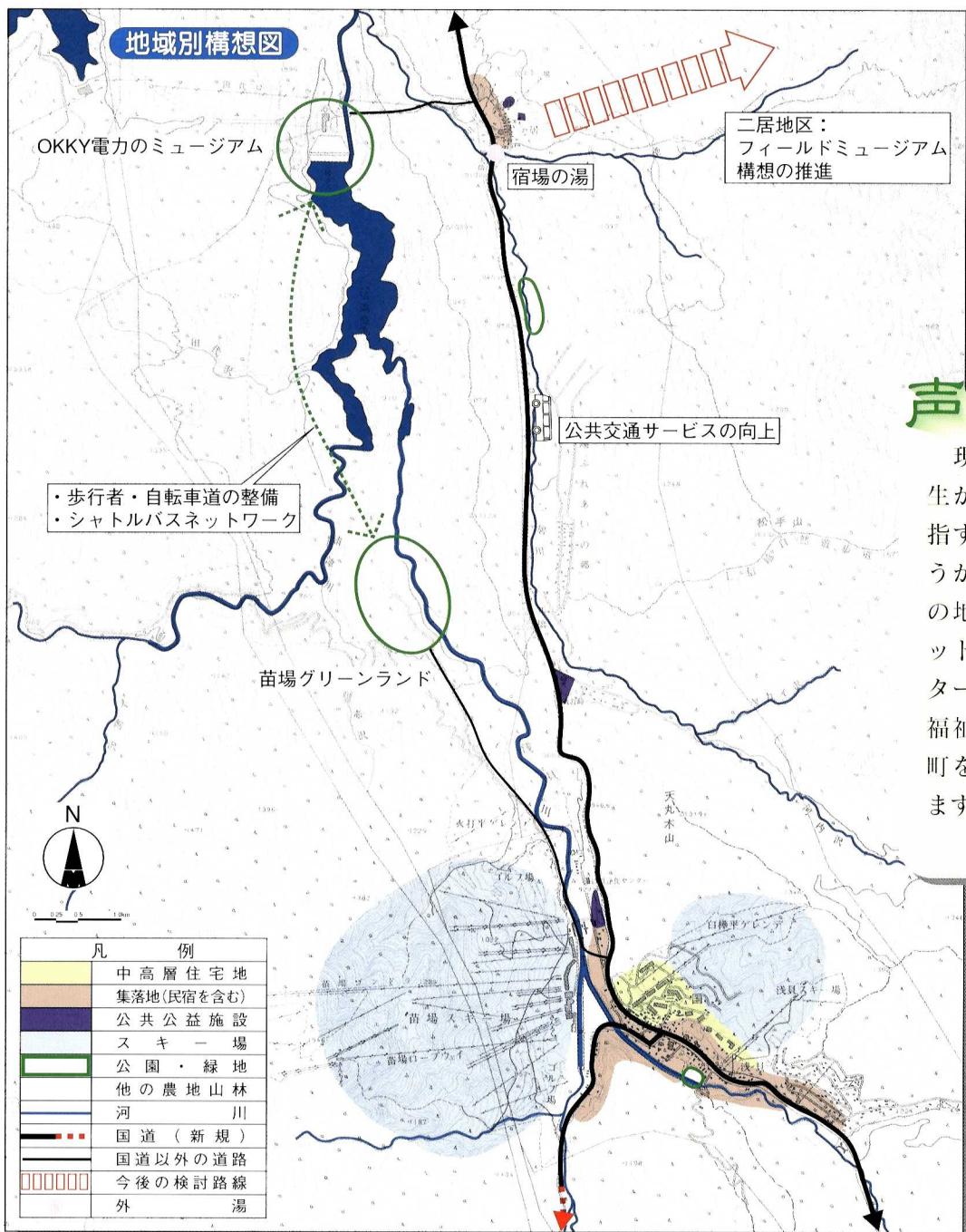


地域の現状

- 冬期間の交通渋滞が顕著
- 国道17号が生命線
- 湯沢地域方面とのバスの便の悪さ
- 夏期観光対策が課題

地域整備の基本方針

- 道路整備促進のさらなる展開(土樽方面との連絡)
- きめ細かい公共交通サービスの実現
- 通年型リゾート地の育成
- 防災ヘリポートの整備検討



声

現在ある自然や施設を生かしたリゾート地を目指すべきではないでしょうか。そのためにすべての地域をシャトルバスネットワークで結び、ビジターセンター等を設置し、福祉機能の伴った観光立町を考えてほしいと思います。

40代男性

※土樽地域と三俣・三国地域との連絡に資する道路については、(町)二居土樽線を含めて、今後、整備について検討を行っていきます。

11 ふるさと「ゆざわ」をもっと素敵な町にするために 湯沢町都市マスタープラン策定のその後に…

みんなが「いいな」と感じる湯沢町にするためのステップ

STEP 1 まちづくりの目標を決める

都市マスタープラン：まちづくり（都市計画）の目標・ベースをつくる。
今回決めたこと

STEP 2 目標に向けどれから、どのように整備するのかを決める

整備準備の検討：予算（財政フレーム）を見通して、部門別にどのような順序で整備していくのかを検討する。

STEP 3 具体的な整備計画を立てる

個別整備計画の検討：部門別に具体的な整備計画（設計検討を含む）を立てる。
例）道路等の交通施設・公園・その他都市施設・面整備・住宅 等

実 現

まちづくりに欠かせないあなたの意識

まちづくりは、私たち一人一人が『ふるさとを良くしていこう』という意識を持つことから始まります。この意識のもとに、「自分でできること」と「みんなで協力していくこと」を分担し、責任を持って協力していくことが必要です。

この都市マスタープランでは、皆様のご意見をもとに、まちの将来像（まちづくりの方向性）を定め、この現実に向けた土地利用や都市施設等の整備・配置について計画しました。

今後、計画実現に向けて更に詳しい検討をしていきますが、これからまちづくりには、皆様の積極的な参加と協力が欠かせません。湯沢町では、皆様と一緒に『未来の湯沢町』を創っていきたいと考えております。

湯沢町建設課

〒949-6192 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL 0257-84-4852 FAX 0257-80-6072